

2021年度 第2四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量および受注見通しについては、全体的に増加・上向き傾向が見られる一方、一部で減少傾向が見られた。

受注単価・資金繰りについては、前回調査時から大きな変化は見られなかった。

採算状況については、2019年3月調査以来2年半ぶりに「黒字」と回答した企業の割合が3割を上回り、受注余力についても、2018年12月調査以来2年9ヶ月ぶりに「受注余力なし」が4割を超える結果となるなど、持ち直しの傾向が見られる。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的に増加傾向が見られるが、輸送用機器等の一部で減少傾向が見られる。
- (2)受注見通し : 全体的に上向き傾向が見られるが、輸送用機器等の一部で慎重な見通しとなった。
- (3)受注単価 : 全体として大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 全体として大きな変化はなかった。
- (5)採算状況 : 「黒字」が3割を超え、「赤字」が2割を下回るなど、持ち直しの傾向が見られる。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が59.7%と、前期と比較して7.9%の低下となった。
(「受注余力あり」とする企業の割合が低下した＝プラス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち21社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

府内中小企業の受注動向は、全体的に堅調に推移しており、多くの業種でコロナ禍による落ち込みから持ち直しつつある。中でも世界的に需要が増加している半導体分野は好調を維持しており、半導体製造装置関連のサプライヤーからは引き続き活況な様子が窺えた。また、建設機械や工作機械等の部品製造を行う企業からも足元の受注量は安定しているとの声が聞かれている。

一方で、半導体をはじめとする電子部品の需給ひっ迫により、客先からの発注延期や調達の遅延等、売り買い両面での悪影響が見られる。また、素材の価格高騰が深刻化しており、上昇分を売値に転嫁できない中小企業の収益を圧迫するなど、さらなる景気回復の足かせとなっている。

他方、以前から懸念されていた自動車の減産による影響が府内サプライヤーにも散見されており、関連産業である車載部品や工作機械部品等のサプライヤーからも先行きを不安視する声が聞かれた。

今後については、ワクチン接種の普及による経済活動の正常化が期待されるものの、上記諸問題に加え、燃料費の高騰や府内最低賃金改定による影響、新型コロナウイルス変異株の再拡大の動向、アメリカ・中国等の海外経済の減速も危惧されることから、依然として楽観視できない状況が続く。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2021年7月～9月
(2021年9月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 241社 (回答率 80.3%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2021年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

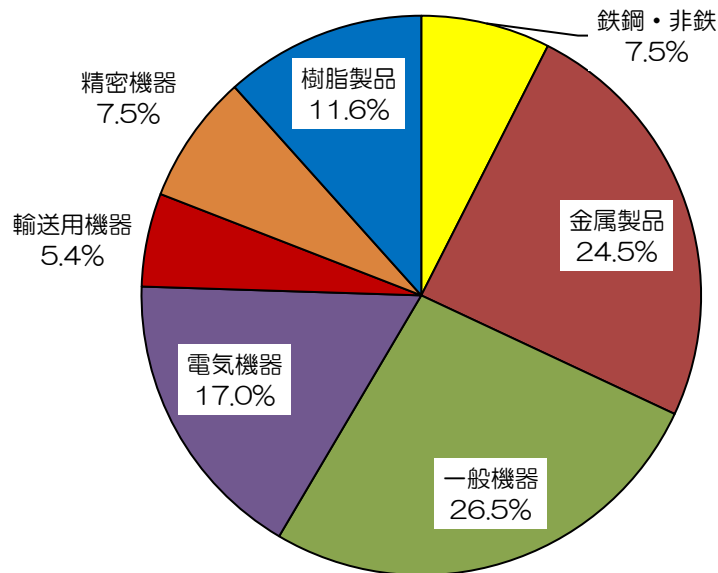
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	241社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	18社	(7.5%)	
金属製品関係	59社	(24.5%)	
一般機器関係	64社	(26.5%)	
電気機器関係	41社	(17.0%)	
輸送用機器関係	13社	(5.4%)	
精密機器関係	18社	(7.5%)	
樹脂製品関係	28社	(11.6%)	
④ 回答率	80.3%	[前回：87.0%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.1%		1 1.7%		1 2.4%			3 10.7%
~300万円	19 7.9%		6 10.2%	2 3.1%	4 9.8%	2 15.4%	2 11.1%	3 10.7%
301~999万円	11 4.6%		3 5.1%	6 9.4%		1 7.7%		1 3.6%
1000~2000万円	131 54.4%	10 55.6%	34 57.6%	37 57.8%	23 56.1%	3 23.1%	10 55.6%	14 50.0%
2001~5000万円	54 22.4%	5 27.8%	14 23.7%	15 23.4%	9 22.0%	2 15.4%	3 16.7%	6 21.4%
5000万円超	21 8.7%	3 16.7%	1 1.7%	4 6.3%	4 9.8%	5 38.5%	3 16.7%	1 3.6%
合 計	241 100%	18 100%	59 100%	64 100%	41 100%	13 100%	18 100%	28 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

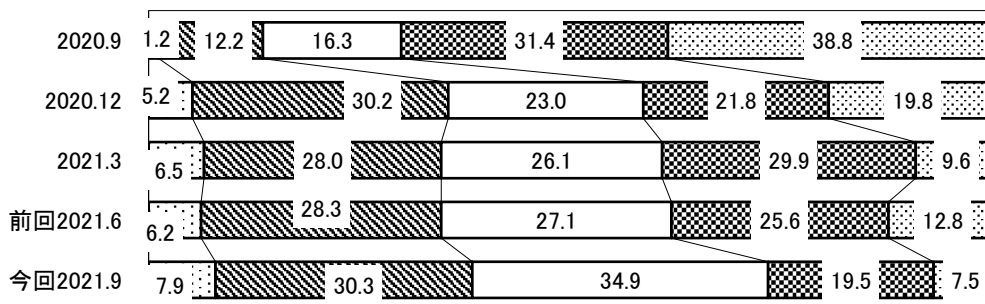
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.9%	4 22.2%	3 5.1%	4 6.3%	5 12.2%			3 10.7%
6~10人	26 10.8%	1 5.6%	5 8.5%	9 14.1%	1 2.4%	3 23.1%	3 16.7%	4 14.3%
11~20人	61 25.3%	3 16.7%	14 23.7%	21 32.8%	10 24.4%	1 7.7%	5 27.8%	7 25.0%
21~30人	38 15.8%	3 16.7%	15 25.4%	10 15.6%	5 12.2%	1 7.7%	1 5.6%	3 10.7%
31~50人	41 17.0%	4 22.2%	10 16.9%	9 14.1%	9 22.0%	2 15.4%	4 22.2%	3 10.7%
51人以上	56 23.2%	3 16.7%	12 20.3%	11 17.2%	11 26.8%	6 46.2%	5 27.8%	8 28.6%
合 計	241 100%	18 100%	59 100%	64 100%	41 100%	13 100%	18 100%	28 100%

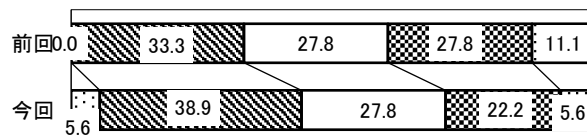
3. 調査結果

(1) 受注量について

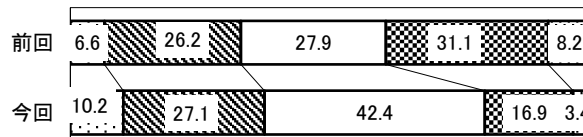
①全体(241社) □増加 ■やや増加 □不変 ■やや減少 □減少 (％)



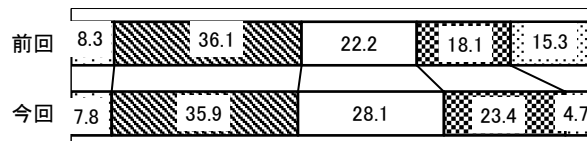
②鉄鋼・非鉄(18社)



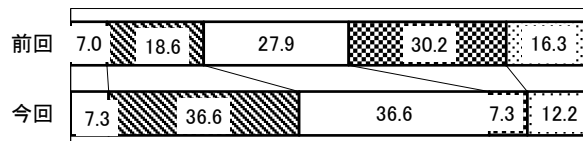
③金属製品(59社)



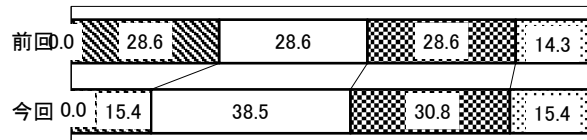
④一般機器(64社)



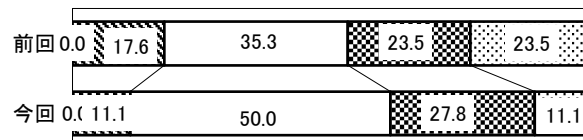
⑤電気機器(41社)



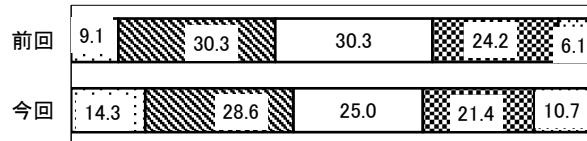
⑥輸送用機器(13社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(28社)



○全体

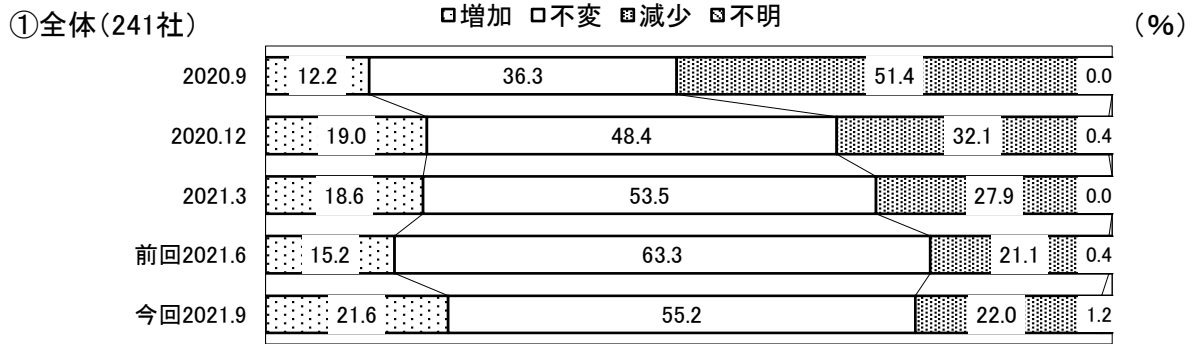
・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は11.2となり、前期（4月～6月期）のD I値▲3.9と比べ15.1ポイント上昇し、全体的に増加傾向が見られるが、一部で減少傾向が見られる。

○業種別

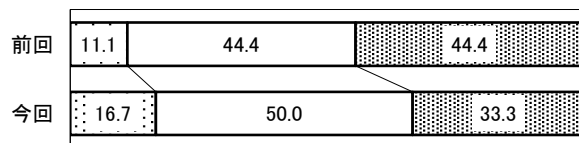
・D I値は、電気機器（24.4）、金属製品（17.0）、鉄鋼・非鉄（16.7）、一般機器（15.6）、樹脂製品（10.8）の5業種でプラスとなり精密機器（▲27.8）、輸送用機器（▲30.8）の2業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、電気機器（45.3ポイント）、金属製品（23.5ポイント）、鉄鋼・非鉄（22.3ポイント）、一般機器（4.6ポイント）、樹脂製品（1.7ポイント）、精密機械（1.6ポイント）の6業種で上昇。輸送用機器（▲16.5ポイント）の1業種のみ低下している。

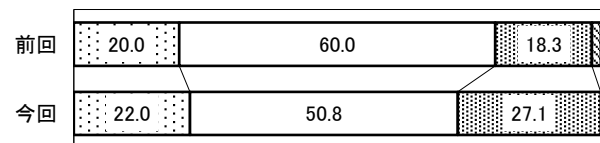
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



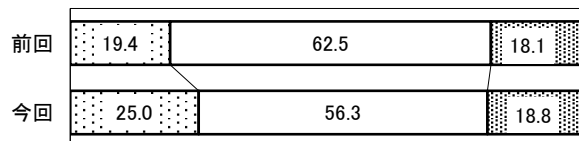
②鉄鋼・非鉄(18社)



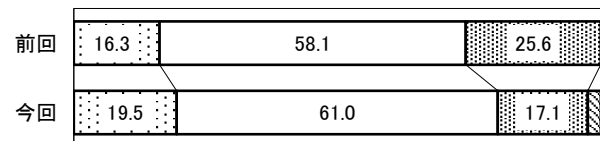
③金属製品(59社)



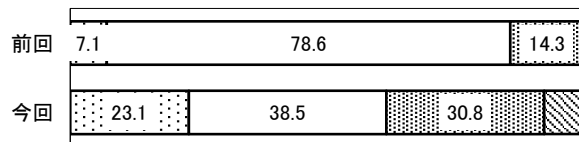
④一般機器(64社)



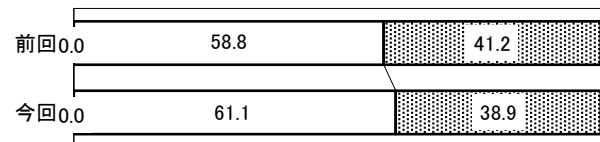
⑤電気機器(41社)



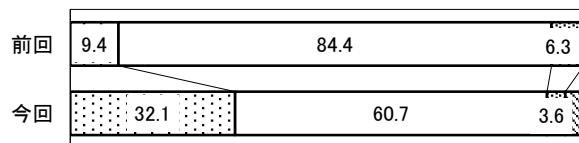
⑥輸送用機器(13社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(28社)



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲0.4となり、前期(4月~6月期)調査時のD I 値▲5.9と比べ5.5ポイント上昇し、全体的に上向き傾向が見られるが、一部で慎重な見通しとなった。

○業種別

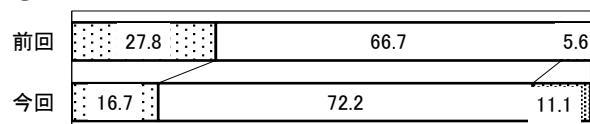
・D I 値は、樹脂製品(28.5)、一般機器(6.2)、電気機器(2.4)の3業種のみプラス。金属製品(▲5.1)、輸送用機器(▲7.7)、鉄鋼・非鉄(▲16.6)、精密機器(▲38.9)の4業種でマイナスとなった。

・D I 値を前回と比較すると、樹脂製品(25.4ポイント)、鉄鋼・非鉄(16.7ポイント)、電気機器(11.7ポイント)、一般機器(4.9ポイント)、精密機器(2.3ポイント)の5業種で上昇。輸送用機器(▲0.5ポイント)、金属製品(▲6.8ポイント)の2業種で低下している。

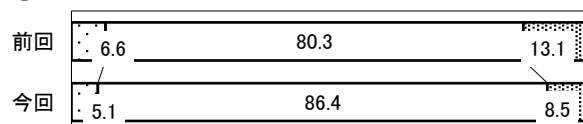
(3) 受注単価について



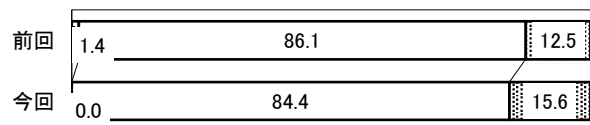
②鉄鋼・非鉄(18社)



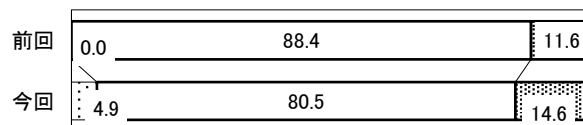
③金属製品(59社)



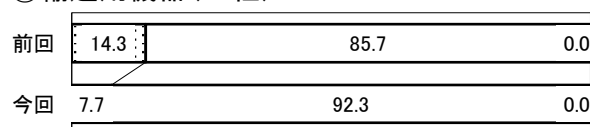
④一般機器(64社)



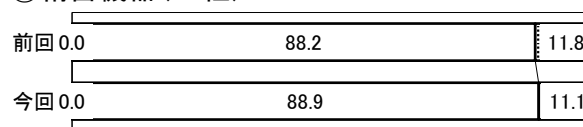
⑤電気機器(41社)



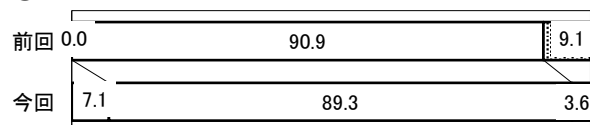
⑥輸送用機器(13社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(28社)



○全体

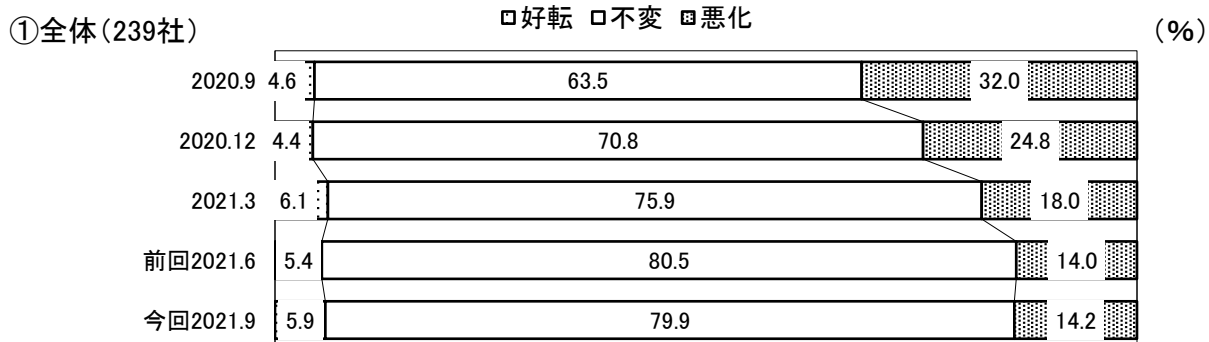
・7月～9月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.2となり、前期（4月～6月期）のD I値▲6.2から大きな変化はなかった。

○業種別

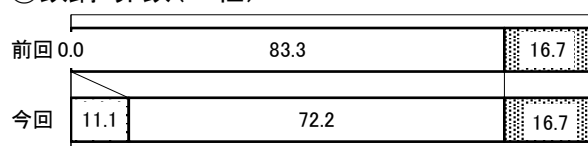
・D I値は、輸送用機器（7.7）、鉄鋼・非鉄（5.6）、樹脂製品（3.5）の3業種でプラス。金属製品（▲3.4）、電気機器（▲9.7）、精密機器（▲11.1）、一般機器（▲15.6）の4業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、樹脂製品（12.6ポイント）、金属製品（3.1ポイント）、電気機器（1.9ポイント）、精密機器（0.7ポイント）の4業種で上昇。一般機器（▲4.5ポイント）、輸送用機器（▲6.6）、鉄鋼・非鉄（▲16.6）の3業種で低下している。

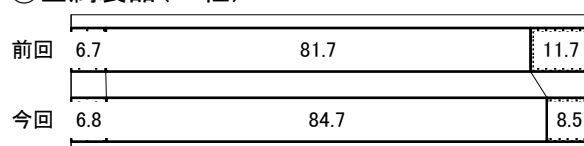
(4) 資金繰りについて



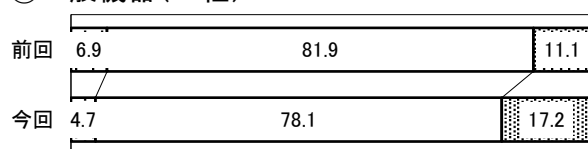
②鉄鋼・非鉄(18社)



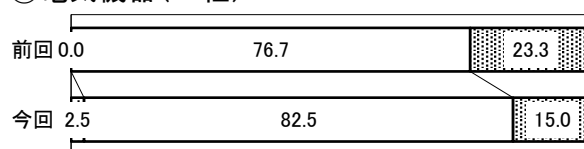
③金属製品(59社)



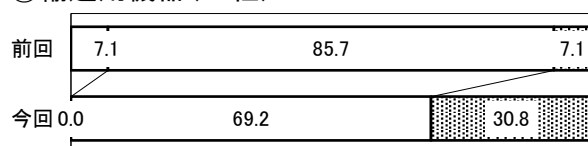
④一般機器(64社)



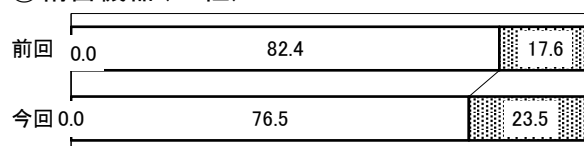
⑤電気機器(40社)



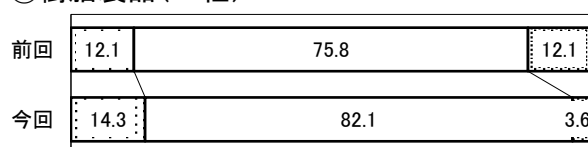
⑥輸送用機器(13社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(28社)



○全体

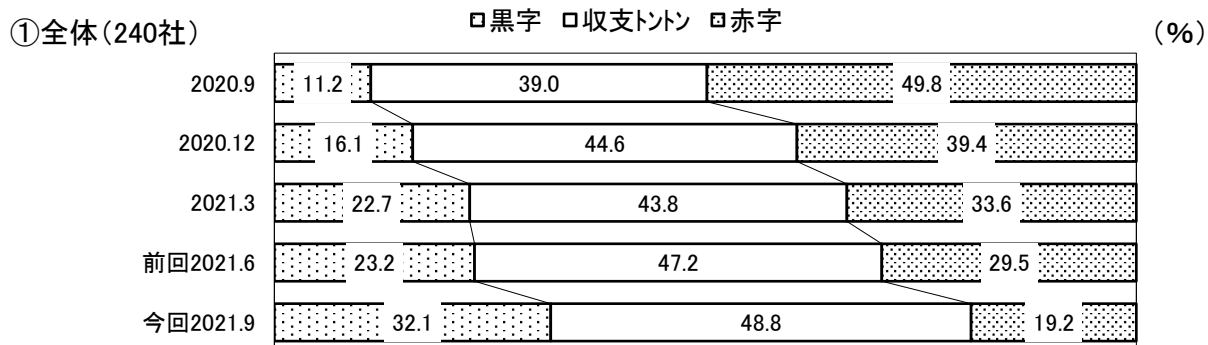
・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲8.3となり、前期(4月～6月期)のD I値▲8.6と比べて0.3ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなかった。

○業種別

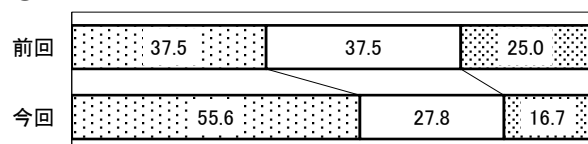
・D I値は、樹脂製品(10.7)の1業種のみプラスとなり、金属製品(▲1.7)、鉄鋼・非鉄(▲5.6)、一般機器(▲12.5)、電気機器(▲12.5)、精密機器(▲23.5)、輸送用機器(▲30.8)と6業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると鉄鋼・非鉄(11.1ポイント)、電気機器(10.8ポイント)、樹脂製品(10.7ポイント)、金属製品(3.3)の4業種で上昇。精密機器(▲5.9)、一般機器(▲8.3)、輸送用機器(▲30.8)の3業種で低下している。

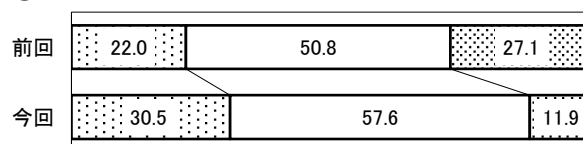
(5) 採算状況について



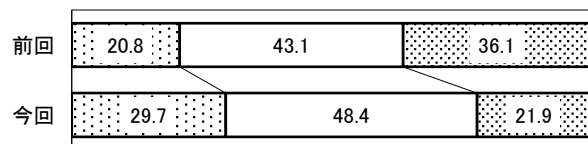
②鉄鋼・非鉄(18社)



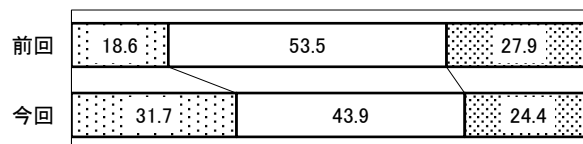
③金属製品(59社)



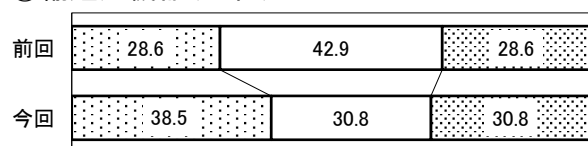
④一般機器(64社)



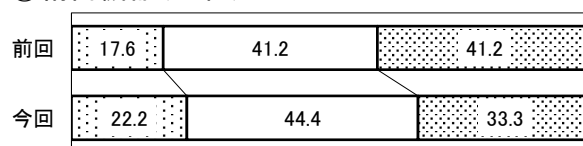
⑤電気機器(41社)



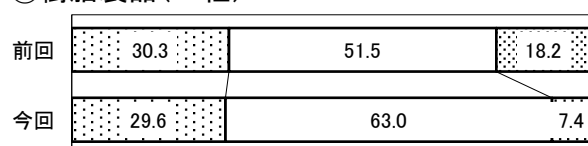
⑥輸送用機器(13社)



⑦精密機器(18社)



⑧樹脂製品(27社)



○全体

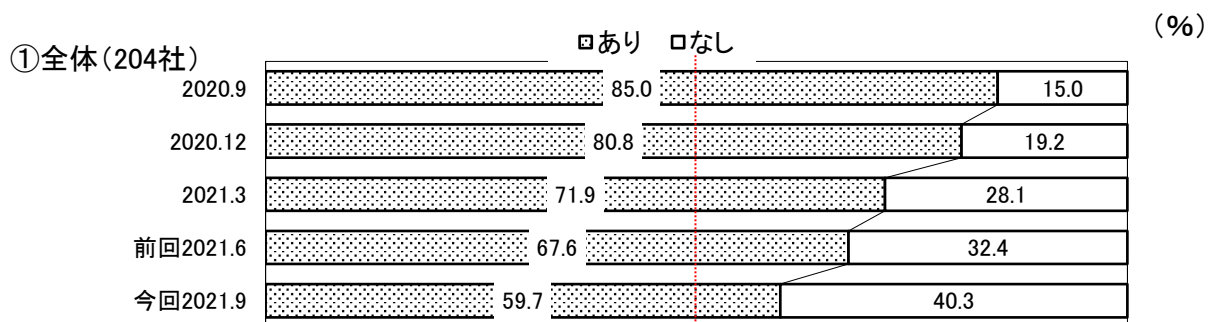
・7月～9月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は12.9となり、前期(4月～6月期)のD I値▲6.3と比べ19.2ポイント上昇した。「黒字」が3割を超え、「赤字」が2割を下回るなど、持ち直しの傾向が見られる。

○業種別

・D I値は、鉄鋼・非鉄(38.9)、樹脂製品(22.2)、金属製品(18.6)、一般機器(7.8)、輸送用機器(7.7)、電気機器(7.3)の6業種でプラスとなり、精密機器(▲11.1)の1業種のみマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄(26.4ポイント)、金属製品(23.7ポイント)、一般機器(23.1ポイント)、電気機器(16.6ポイント)、精密機器(12.5ポイント)、樹脂製品(10.1ポイント)、輸送用機器(7.7ポイント)の7業種全てで上昇している。

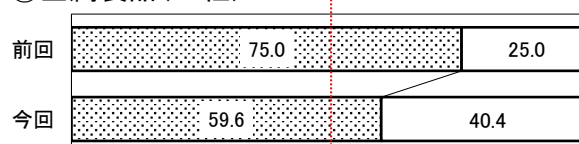
(6) 受注余力について



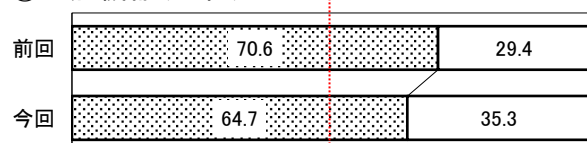
②鉄鋼・非鉄(17社)



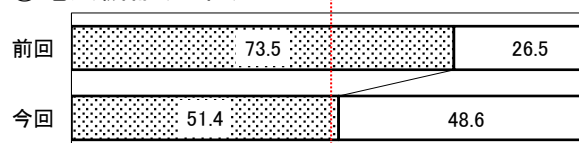
③金属製品(44社)



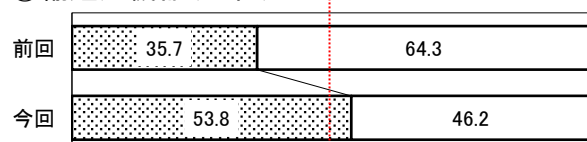
④一般機器(51社)



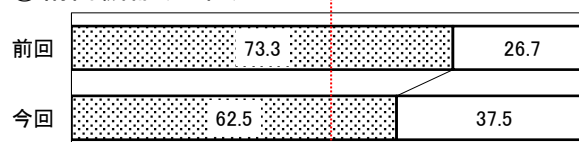
⑤電気機器(34社)



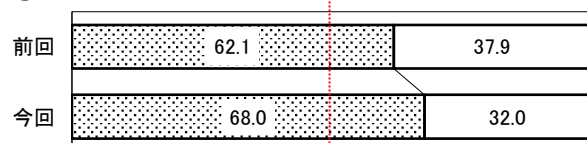
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(15社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

・7月～9月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は19.4となり、前期（4月～6月期）のD I値35.2と比べ15.8ポイント低下した。

・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が59.7%と、前期と比較して7.9%の低下となった。

（「受注余力あり」の割合が低下した＝プラス傾向）

○業種別

・D I値は、電気機器（2.8）、鉄鋼・非鉄（5.8）、輸送用機器（7.6）、金属製品（19.2）、精密機器（25.0）、一般機器（29.4）、樹脂製品（36.0）の7業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（36.2ポイント）、樹脂製品（11.8ポイント）の2業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。鉄鋼・非鉄（▲11.8ポイント）、一般機器（▲11.8ポイント）、精密機器（▲21.6ポイント）、金属製品（▲30.8ポイント）、電気機器（▲44.2ポイント）の5業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp